

EVA用スペアナ側サンプルソフト概要

EVA用サンプルソフト U3700 GetTraceDataV4 EVA はEVA本体のソフトと同時に起動させておきます。本ソフトウェアはEVAのトリガーを受けると測定を行い測定(波形)データを保存して行きます。

(スペアナ入力にはEMC用アンテナ等を接続しておく)

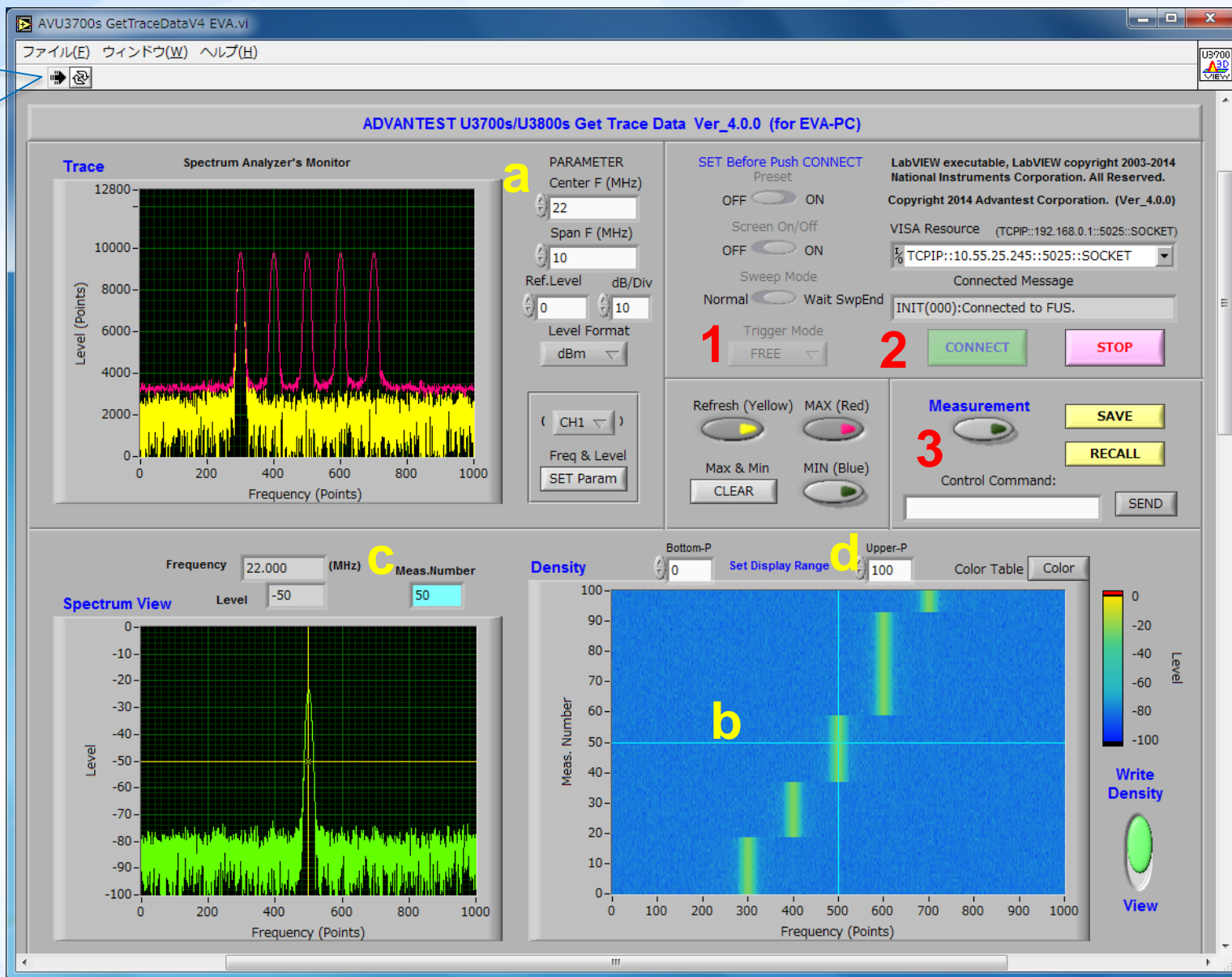
(EVAからトリガー信号をBNC-BNCでスペアナに接続しておく)

- ・たとえば、測定が終了したらどのステップでノイズが最大であるかが後から確認できます。また、そのステップの設定条件でEMCプリチェック測定等が行えます。
- ・EMCプリチェック用サンプルソフトは別途用意してあります。(Web)
- ・PCとスペアナはLAN接続です。(詳細はインストーラ・パック内のManualホルダーに取扱説明書がありますのでご参照下さい)
- ・スペアナはU3700シリーズまたはU3800シリーズで動作します。

GetTrcaeDataV4 EVA の操作方法

- 旧Version-3が(EVA用)PCにある場合はアンインストールして下さい。
 - U3700 GetTraceDataV4 EVA を(EVA用)PCにインストールします。
 - U3700 GetTraceDataV4 EVA を起動します。(次ページの画面が出ます)
-
- 1: EVAのトリガーを使うときは、TRG_EXTIにします。(その他FREE)
 - 2: CONNECTを押します。(接続メッセージがメッセージ欄に表示されます)
 - 現在のスペアナ設定が読み取られ表示されます。(*a)
 - * スペアナに測定条件を手動設定しておけば操作不要です
 - * パラメータ設定はデータを入れ SET Param を押すことで可能です
 - 3: まず、Measurement を押します。本ソフトはトリガー待ち状態となります。
 - 次に、EVA本体のソフトウェアで測定を開始します。
 - 測定が開始されるとステップ毎にトリガーが来ますので、スペアナはそのタイミングで測定し、測定波形を表示および保存していきます。
 - 測定が終了したら、再度Measurement キーを押します。(終了)
 - ステップ毎の測定波形を見るにはカーソルYを上下に動かし左のグラフから最大ノイズ等を探します。ステップ値も表示されます。(*b)
 - ステップ値の位置の測定スペクトラムが表示されます。(*c)
 - 表示エリアを設定します。(*d)(Bottom-P側が新しいデータ: Max 500 Steps)

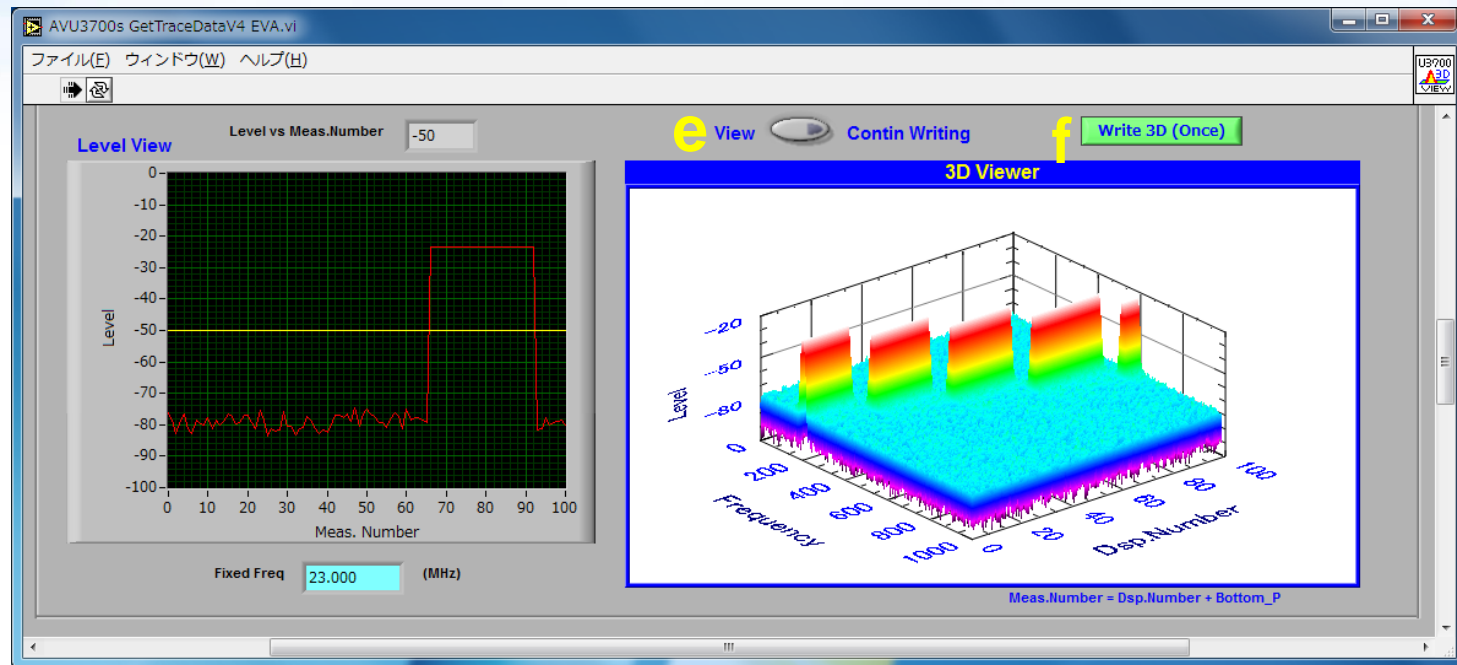
再起動用



ADVANTEST®

パネル下側に FixedFreqのLevel-Stepおよび3Dグラフがあります。

- ・ 連続して書き換えます。(*e)(通常非使用:書き換え時間大)
- ・ 一回だけ書き換えます。(*f)(通常使用モード)



注) STOPを押した後、再起動は再起動用矢印を押すと起動します。
完全クローズは Windows の X を押します。

スペアナとサンプルソフトの関係

・U3700シリーズ

波形保存: U3700 GetTraceDataV4 EVA (機種共通)
波形モニタ: LAN Remote 2ch V5x (1ch,2ch共通)
EMI 1ch: EMI Measure 1ch (1ch,2ch共通)
EMI 2ch: EMI Measure 2ch (2ch-Opt付き専用)

・U3800シリーズ

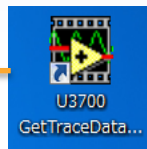
波形保存: U3700 GetTraceDataV4 EVA (機種共通)
波形モニタ: U3800 RF_Monitor2ch (U3800用)
EMI 1ch: U3800 EMI_Meas1ch (U3800用)
EMI 2ch: U3800 EMI_Meas2ch (U3800用)

注1) EMIソフトウェアはOPT28が必要です。

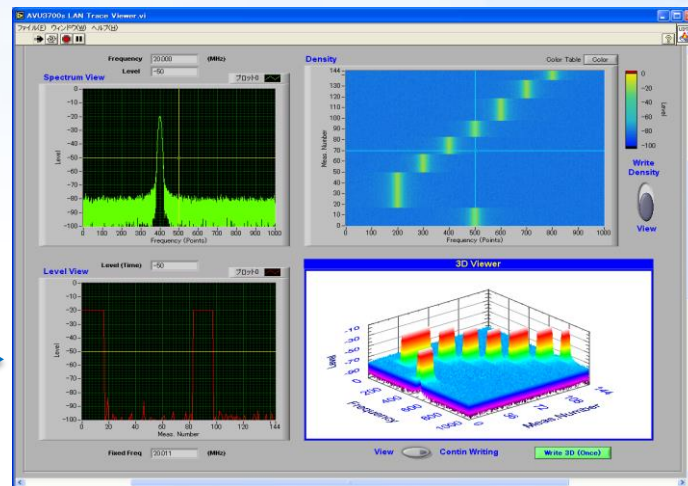
注2) 長期波形保存は U3700(3800) 2ch FEFS Viewerなど有り

ショートカット作成で簡単立上げ...

U3700_GetTraceDataV4_EVA

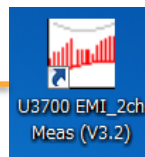
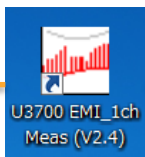
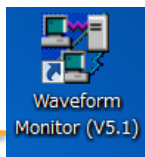


波形保存

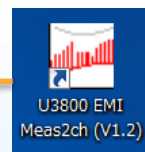
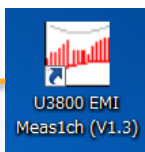
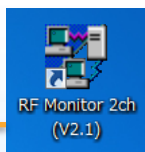


波形モニタ

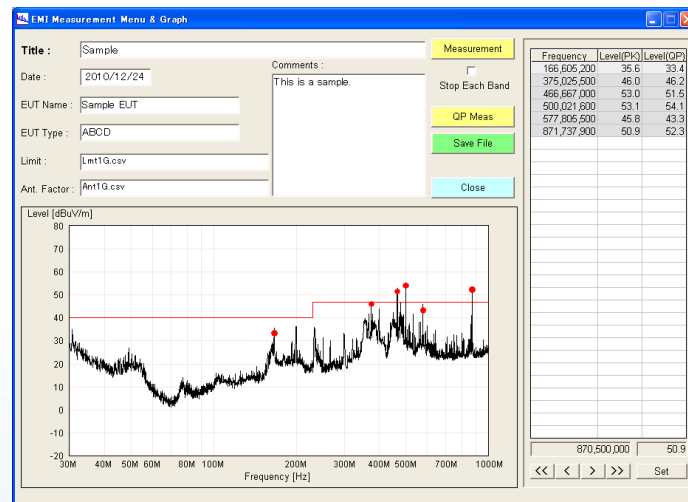
U3700s



U3800s



EMIプリチェック



ADVANTEST®